

# 中津市版まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況の概要

## 1. 総合戦略の進捗状況について

◆戦略に記載した具体的施策数 162

◆既に実施済み・実施中の施策 133→135 (+2) ※H27→H28の数値の推移  
 ( 実施済み：11 →29 (+18) )  
 ( 実施中：122→106 (-16) )

◆実施に向け準備中・未実施の施策 24→12 (-12)  
 ( 実施に向け準備中：11 →6 (-5) )  
 ( 未実施：13→6 (-7) )

◆内容の一部見直し 5→15 (+10)

### 【未実施の施策について（下表参照）】

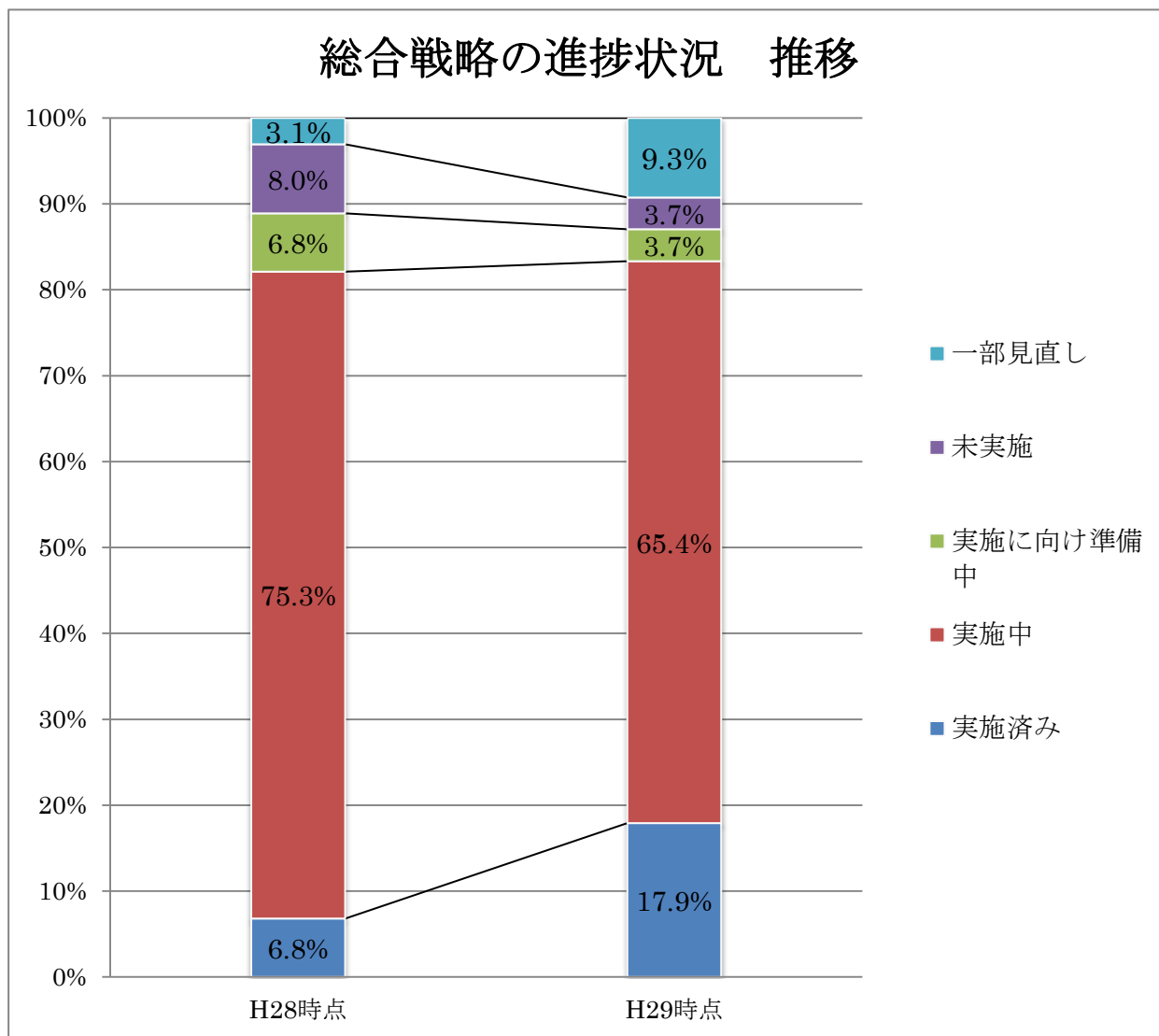
No.	施策名	理由
1	【起業・創業】3D事業創設支援としての3D設備導入に対する補助	設備導入に対する補助ではなく、人材育成に対する支援を中心に実施。
2	【子育て】下毛地域での保育所型認定こども園の実施	民間で実施できないか依頼中。
3	【子育て】ファミリーサポートセンター事業での病児預かり	H28年10月に子育て支援課と社会福祉協議会で病児預かり検討会議を開催した。現状では病児を隔離できる預かり施設と人材の確保が難しい。
4	【子育て】現行の小児救急体制の維持を前提にした子ども医療費助成の検討	H29年4月から開始した小児救急センターの安定した運営を図り、維持していかなくてはならない。検討継続中。
5	【社会福祉】障がい者等の就労を支援するカウンセラーの配置	適格者の募集を行ったが、採用には至らず未実施となっている。一方、障がいに関して多岐にわたる不安や困りごとへの専門的支援のため、H29年4月よりワンストップ相談窓口を設置した。
6	【環境】犯罪の起きにくい環境づくりとしての高架橋アートの検討	高架橋アートについては、JR側の手承を得られていないが、安心パトロール事業など様々な防犯対策を実施している。

【一部見直しの施策について（下表参照）】

※一部見直しについては、総合戦略に記載している施策の一部を見直し、今回の本文改訂に合わせて加筆・修正する施策も含まれています。

No.	施策名	見直しの内容・理由
1	【林業】流通・販売分野の人材育成と担い手確保支援	研究会組織における課題解決の施策検討中。コンサルタント委託は見直し。
2	【林業】流通・販売分野の人材の活用	
3	【林業】海外も視野に入れた木材出荷ルートの開拓と販路拡大	素材の県外移出が進行し、大ロットの相対取引が価格優位となる状況から、素材生産力の増強と伐出コストの低減の方策に傾注する。
4	【起業・創業】企業向け3Dソフト体験講習の実施	最先端技術については日進月歩であり、市としても、国や県と連携しながら新たに発生する課題に的確に対応していくとともに、新技術の活用も積極的に図っていく必要があるため、時代の変化に合わせた内容に見直しを行う。
5	【起業・創業】小学校向け3Dものづくりセミナーの実施	
6	【起業・創業】3D事業創設企業への体制強化・経営相談等の支援	
7	【企業誘致】自動車関連企業及び医療機器産業など立地の可能性の高い分野の分析	自動車関連企業を中心に、女性の雇用が期待できる食品製造業など、他の産業分野についても積極的に誘致活動を行う。
8	【中心市街地】歴史的まちなみの保全・景観形成推進のための旧城下町エリアの景観誘導	都市計画の用途地域の見直し（H31）に併せて、景観誘導を行うエリアの設定を検討する。また、中津城周辺景観形成地区全域ではなく、エリアを限定する方向で検討する。
9	【中心市街地】旧町名の復活	住所表記を行う方法以外に、町名を後世へと伝承する手段について検討。
10	【観光】沖代条里等古代ゾーンの整備と見学ルートの設定検討	長者屋敷官衙遺跡整備は見直し計画に沿って整備中。条里は土水路整備案を作成し、次年度施工を検討中。
11	【観光】八面山の景観、遊歩道整備、運動スペースの改修	樹木の伐採や草刈作業等の景観・遊歩道整備は実施。運動スペースの改修は、他用途での活用が決定したため実施しない。
12	【教育】学校授業及び授業以外での英語教育	H28年は試行したが、中津市子ども・子育て会議の幼児教育・保育専門部会において、幼児期には「あそび」を大切にしたい幼児教育を行う事を検討しており、未就学児への英語教育は実施しないことになった。
13	【子育て・教育】公立保育所で英会話等の特色のある教育の実施	
14	【環境】空き地等を活用した小規模公園の充実	既存チビッコ広場等の施設の維持補修を中心に実施。新たな小規模公園の新設については市の財政状況も考慮しながら精査し検討する。

No.	施策名	見直しの内容・理由
15	【拠点】今津校区での市営住宅の建設	今津地区の主要幹線である県道整備が進み民間の住宅開発が進んできているため、市営住宅の建設は行わず、既存空家等の活用やソフト事業など関係課と連携し再検討を行う。



項目数

進捗区分	H28 時点	H29 時点
実施済み	11	29
実施中	122	106
実施に向け準備中	11	6
未実施	13	6
一部見直し	5	15
計	162	162

構成割合

進捗区分	H28 時点	H29 時点
実施済み	6.8%	17.9%
実施中	75.3%	65.4%
実施に向け準備中	6.8%	3.7%
未実施	8.0%	3.7%
一部見直し	3.1%	9.3%
計	100%	100%

## 2. 交付金の効果検証について

### ◆中山間地でも「もうかる米づくり」推進事業

本事業における重要業績評価指標（KPI）		指標値	実績値
指標①	農業の新規従事者数（H27年度以降累計）	19人	20人
指標②	農業生産法人における米の年間生産量	60トン	68トン
指標③	空き家バンク新規登録物件数（H27年度以降累計）	30件	41件
指標④	空き家バンク利用移住者数（H27年度以降累計）	48人	46人

交付対象事業	事業効果	今後の方針／理由
中山間地域農業再編事業	非常に効果的であった	（予定通り事業終了）県制度による補助金へ移行するため。
UIJ ターン就職支援事業	効果があった	（継続）平成28年10月開設時に28社が登録。その後も登録企業が増加していること。また、ホームページアクセス回数も順調に推移している。
移住促進事業	効果があった	（継続）空き家登録物件は徐々に増えているため、今後は、移住希望者と物件や地域での暮らしとをつなぐ取り組みを継続する必要がある。

### ◆サイクリングロードでつなぐ中津耶馬溪（なかつ やばけい）ブランド化推進事業

本事業における重要業績評価指標（KPI）		指標値	実績値
指標①	年間観光入込客数	486万人/年	446万人/年

交付対象事業	事業効果	今後の方針／理由
メイプル耶馬サイクリングロード整備事業	効果があった	（継続）知名度向上、観光素材の磨き上げ、受け入れ環境の整備など観光振興事業として、戦略的に実施することで、なかつ・やばけいのブランド力を高めていくとともに、単なる誘客増ではなく、食事や購買、宿泊誘導による滞在時間を延ばせる観光事業を推進することで、地域の活性化も図っていく必要がある。
観光推進事業		
戦略的誘導観光サイン整備事業		
中津耶馬溪観光協会補助事業		
ロケツーリズム推進事業	効果があった	（継続）映画サブイボマスクだけでなく、NTT西日本のCMや全国放送のテレビ番組等での効果を体感している。また、旧郡部等、ロケ地としての潜在力は計り知れないと考えている。

クルーズ船歓迎事業	効果があった	(継続) 乗客や船会社に対してツアー商品として価値ある観光地として認識してもらうことで、北部九州の各港に寄港した際の観光ツアーに組み込んでもらうほか、定期的な中津港への寄港にも繋げることで、観光消費の拡大を図る。
カキ養殖振興事業	効果があった	(継続) 本事業によりカキの販路先が増え、販売量増加に効果があった。今後もカキの生産量を増やしていく計画であり、新たな販路を開拓する必要がある。
なかつ6次産業創生事業	相当程度効果があった	(継続) 効果度合及び外部関係者の意見により、本事業は効果があったと判断出来るとともに、今後更に推奨品の認証数を増やして行くために取り組んでいく。また、推奨品の認証数だけでなく、推奨品の認知度が向上するよう、これからも事業者と連携して取り組んでいく。

#### ◆子育て2.0のまちプロジェクト

本事業における重要業績評価指標 (KPI)		指標値	実績値
指標①	合計特殊出生率	1.93	1.94

交付対象事業	事業効果	今後の方針/理由
長期休業中児童クラブ運営事業	非常に効果的であった	(継続) 既存の放課後児童クラブの待機児童解消、保護者の就労状況に合わせた利用など当事業のもたらす効果は大きい。 また、保護者ニーズへのきめ細かな対応のうえ事業を継続することにより、子育て不安解消による出生率の増加、子育て環境改善による就職率の増加が期待できる。
公園遊具等事業	効果があった	(予定通り事業終了) 通常の国の補助事業としては実施が難しい小規模な公園を対象として事業を行った。近隣住民の子育て環境の向上に寄与したが、市域全体に波及する効果を挙げるためには、継続的・計画的に各地域の小規模公園等の施設の点検・改修を行っていく必要がある。 今回、交付金事業としてある程度まとまった改修が行えたので、今後は市の単独事業として行っていく。

### 3. 本文の改訂について

No.	施策名	見直す内容・理由
1	【P.1】 2. 総合戦略の位置づけ	「第四次中津市総合計画」→「第五次中津市総合計画」へ変更。
2	【P.2】 3. 現状と課題	「行ってみたい、住んでみたい中津」→「暮らし満足 No.1 のまち『中津』」へ変更。
3	【P.6】 循環型森林整備の推進	伐出における人材確保により、原木供給力・原木集荷力を拡大させ、取引の価格形成において優位な地位となるよう、素材生産に係る人材の育成の方に取組みを傾注する必要が生じてきたことによる見直し。
4	【P.7】 輸出も含めた収益力ある木材出荷ルート構築	小ロットの建築用材の高付加価値化でなく、原木集荷力の強化による低質材を含めた大ロットでの直流取引の拡大に主眼を置いた取組みが必要であることから、本文を見直す。
5	【P.8】 2. 中津の地域や産業が行う未来志向の新しい取り組みを支える	最先端技術の活用方針の一部見直しに合わせて「3Dプリンターなど」を削除。
6	【P.8】 新規事業等に向けた最先端技術（3Dプリンター等）の利用促進	時代の変化に合わせた内容に全面的に見直し。
7	【P.9】 人材確保等の中小企業支援	特に人材不足といわれる資格職、中でも医療・福祉分野についての人材の掘り起こしを目的として「登録人材バンク制度」を創設するため、本文を見直し。
8	【P.10】 積極的・戦略的な企業誘致の推進	今後も自動車関連企業を中心としつつ、食料品製造業やBPOオフィス業など女性の雇用にも期待ができる分野についても誘致活動を展開していくため、本文を見直し。
9	【P.13】 観光素材の魅力向上	戦略編成後の実情に合わせるため。 【変更点】 ・ 沖代条里関連 →整備計画の見直し等により、観光素材としての優先順位が低くなったため。 ・ メイプル耶馬サイクリングロード →台湾台中市との協定締結を加味した。 ・ 八面山 →日本夜景遺産認定を加味するとともに、施設整備の見直しも行われたため。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本遺産</li> </ul> →認定を目指していたものが、認定に至ったため。また、日本新三景は、平成 28 年の限定事業で実施・終了したため。（事実としては継承する。）
10	【P. 18】英会話教育の充実などグローバルな人材育成体制の構築	全般的に英語教育開始時期の捉えが変わっており、（幼児教育を行ううえで、幼児の言語発達において、就学前は母国語を確立する時期であり、第 2 外国語が入るのは 8 歳ぐらい、文科省においても小学校 3 年からの開始となっている）幼児期からの英語教育の見直しを行う。
11	【P. 18】幼児期教育の充実	
12	【P. 21】現行の小児救急体制の維持を前提に子ども医療費助成の検討	小児科医療体制を平成 29 年 4 月から変更したことによる本文の見直し。
13	【P. 23】モデル地区による地域活性化支援	方針の見直しにより今津校区での市営住宅の建設は事業廃止となったため、該当箇所を削除。